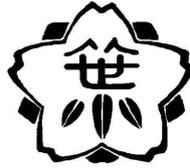


泉つうしん



阿賀野市立笹岡小学校

平成26年1月10日

No.9

ホームページ <http://sasaoka-es.agano.ed.jp/>

オリンピックに思う

校長 本間 正人

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

3学期が始まり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。冷え切った校内が活気に満ち溢れています。始業式の日「楽しい冬休みでしたか?」と聞くと「短すぎでした。」「勉強をギリギリに終わらせました。」「こたつでゴロゴロしてました。」など微笑ましい本音が返ってきました。子どもたちは、それぞれ楽しい冬休みを過ごしたようです。

さて、冬季オリンピックソチ大会まであと1ヶ月。新潟県からも選手が出場しますので、その活躍を今から楽しみにしています。

オリンピックと言えば、昨年、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催が決定し、日本中が喜びに沸きました。日本で開催される夏のオリンピックとしては前回の1964年以来、約半世紀ぶりの開催となります。今回の東京招致にあたり、滝川クリステルさんの次のようなプレゼンテーションが話題になりました。

東京は皆様をユニークにお迎えします。日本語ではそれを「おもてなし」という一語で表現できます。それは見返りを求めないホスピタリティの精神、それは先祖代々受け継がれながら、日本の超現代的な文化にも深く根付いています。「おもてなし」という言葉は、なぜ日本人が互いに助け合い、お迎えするお客様のことを大切にするかを示しています。

一つ簡単な例をご紹介します。もし、皆様が東京で何かをなくしたならば、ほぼ確実にそれは戻ってきます。例え現金でも。実際に昨年、現金3000万ドル以上が、落とし物として東京の警察署に届けられました。世界を旅する7万5000人の旅行者を対象にして行った最近の調査によると、東京は世界で最も安全な都市となっています。

この調査ではまた、東京は次の項目においても第1位の評価を受けました。公共交通機関。街中の清潔さ。そして、タクシーの運転手の親切さにおいてもです。あらゆる界限でこの資産を目にするでしょう。(中略)

来訪者全てに生涯忘れ得ぬ思い出をお約束します。

昨年の流行語大賞の一つにも選ばれた「おもてなし」。私たちは、「もてなす」心や態度が当たり前前の国で育ってきたのでなかなか気付きませんが、「おもてなし」は、外国人には簡単にまねのできない素晴らしい文化のようです。「おもてなし」を育んできた日本の平和や風土にもっと感謝し、自信をもって良いのかも知れません。それは、言葉で教えるだけで身に付くものではありません。身をもって態度で示すことで自然と培われる思いやり、心配りなのです。「おもてなし」の心を大切に、日本人であることに幸せを感じ、誇りをもちたいものです。

あと6年ちょっとで東京オリンピックです。もしかしたら、阿賀野市出身者から、笹岡小学校出身者から選手が出るかも知れません(ちなみに、1984年ロサンゼルスオリンピックに旧京ヶ瀬村出身の野瀬清喜選手が出場して男子柔道86kg級で銅メダルをとっています)。子どもたちは無限の可能性をもっています。大いに期待したいものです。

さて、3学期は授業日数が51日です。子どもたちが学習や生活のまとめをしっかりと行い、自信をもって進学・進級できるよう、「チーム笹岡」として職員一同がんばってまいります。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

